

イーストスプリング  
米国小型厳選バリュー株ファンド  
Aコース（為替ヘッジあり）／  
Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書（全体版）」を選択

作成対象期間 2018年9月26日～2019年3月25日

第4期 2019年3月25日決算

Aコース（為替ヘッジあり） 日経新聞掲載名：米小型厳選A

第4期末	基準価額	9,481円
	純資産総額	27百万円
第4期	騰落率	-17.5%
	分配金合計	0円

Bコース（為替ヘッジなし） 日経新聞掲載名：米小型厳選B

第4期末	基準価額	10,004円
	純資産総額	1,029百万円
第4期	騰落率	-18.2%
	分配金合計	0円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 運用経過

### Aコース（為替ヘッジあり）

#### 基準価額等の推移について

（2018年9月26日～2019年3月25日）



第4期首	11,498円
第4期末	9,481円（既払分配金0円）
騰落率	-17.5%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

#### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・保有する米国株式が下落したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月26日～2019年3月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	99円	0.991%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,022円です。
( 投信会社)	( 48)	(0.482)	委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	( 48)	(0.482)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
( 受託会社)	( 3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.043	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株式)	( 4)	(0.041)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
( 投資信託証券)	( 0)	(0.001)	
(c) その他費用	15	0.152	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用)	( 7)	(0.069)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用)	( 5)	(0.053)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( その他1)	( 3)	(0.029)	信託管理事務に係る手数料
( その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	118	1.186	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2014年3月25日～2019年3月25日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/4/20 設定日	2018/3/26	2019/3/25	—	—	—
基準価額	(円)	10,000	10,482	9,481	—	—	—
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	—	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)		—	4.8	-9.5	—	—	—
純資産総額	(百万円)	24	89	27	—	—	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 運用経過

### Bコース（為替ヘッジなし）

#### 基準価額等の推移について

（2018年9月26日～2019年3月25日）



第4期首	12,227円
第4期末	10,004円（既払分配金0円）
騰落率	-18.2%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

#### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

- ・保有する米国株式が下落したこと。
- ・為替市場で円高ドル安となったこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2018年9月26日～2019年3月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	105円	0.991%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,631円です。
( 投信会社)	( 51)	(0.482)	委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	( 51)	(0.482)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
( 受託会社)	( 3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.042	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株式)	( 4)	(0.041)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
( 投資信託証券)	( 0)	(0.001)	
(c) その他費用	12	0.110	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用)	( 7)	(0.066)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用)	( 2)	(0.019)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印刷)	( 3)	(0.025)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
( その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	121	1.143	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2014年3月25日～2019年3月25日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/4/20 設定日	2018/3/26	2019/3/25	—	—	—
基準価額	(円)	10,000	10,233	10,004	—	—	—
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	—	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	2.3	-2.2	—	—	—
純資産総額	(百万円)	804	5,042	1,029	—	—	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### 米国株式市場

米国株式市場は期初から2018年10月末にかけて、米中貿易摩擦や中国経済減速への懸念から下落しました。その後は反発する場面も見られましたが、12月に入ると債券市場で長短金利の逆転現象が見られたことや、連邦準備制度理事会（FRB）議長のタカ派的な発言などを受けて、株式市場は大きく下落する展開となりました。2019年1月にはFRB議長が金融引き締めの見直しなど今後の政策運営に柔軟な姿勢を示したことなどから株式市場は反発しました。その後も米中貿易交渉進展への期待や米国の利上げペース鈍化への期待などを背景に堅調に推移しましたが、通期では下落して期末を迎えました。

## ポートフォリオについて

### イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドAコース（為替ヘッジあり）

イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行いました。なお実質組入外貨建資産に対しては、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行いました。

### 為替市場

当期、ドルは円に対して下落しました。期初から2018年12月中旬まで比較的狭いレンジで推移しましたが、年末にかけては米国株や原油価格の下落を受けてリスク回避の円買いが進みました。2019年に入るとさらに円高が進みましたが、投資家心理の回復からドルは反発し、その後も米中貿易交渉進展への期待や米国株の反発などを背景に、期末まで緩やかな円安ドル高傾向が続きました。

### イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドBコース（為替ヘッジなし）

イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行いました。



## イーストスプリング米国小型株式マザーファンド

主として、米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。投資にあたっては、独自の調査により個別企業の財務内容等を分析し、小型株市場全体や過去の水準と比較

較して割安と判断される銘柄を選択し、ポートフォリオ構築を行いました。

当期は靴メーカーSkechers、電力会社PNM Resourcesなどの保有がプラスとなった一方で、医療用品の販売などを手掛けるOwens & Minorや石油ガスサービス会社Superior Energy Servicesなどの保有はマイナスとなりました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

#### Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第4期	
	2018年9月26日 ～2019年3月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,538

#### Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第4期	
	2018年9月26日 ～2019年3月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,930

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドAコース (為替ヘッジあり)

イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。なお実質組入外貨建資産に対しては、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

### イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドBコース (為替ヘッジなし)

イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として米国の小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。

### イーストスプリング米国小型株式マザーファンド

米国小型株市場は引き続き良好と見ていますが、米中貿易摩擦や金融政策への不透明感などから株式市場全体としては変動性が高まるものと想定しています。多くの米国企業は革新的な技術導入などを通じて継続的なコスト削減に取り組んでおり、利益率の改善が進むと思われます。米国景気の減速懸念が強まる局面が見られるものの、運用担当者は米国経済が2019年にリセッション（景気後退）入りするとは考えていません。連邦準備制度理事会（FRB）は2018年に金融引締め姿勢を維持しましたが、インフレ環境が落ち着いている限り、2019年にはその姿勢を軟化させるとみています。2019年も変動の大きい相場展開が予想されるものの、企業の良好なファンダメンタルズから乖離した株価調整局面では、優良な銘柄を組み入れる好機であると考えています。当マザーファンドでは業界内での競争力や財務内容の強みなどを把握したうえで、十分に割安であると判断した銘柄に厳選して投資を行っています。今後も一貫した銘柄選定プロセスを継続して運用を行ってまいります。

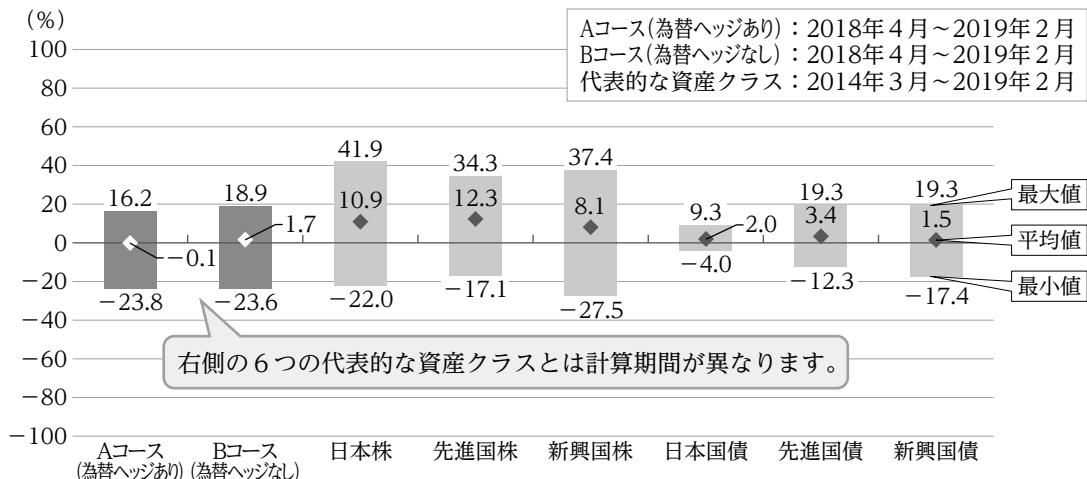
## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2017年4月20日から2027年3月25日まで	
運用方針	主として米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）	イーストスプリング米国小型株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング 米国小型株式 マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株を主要投資対象とします。
運用方法	Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング 米国小型株式 マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年3月25日および9月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P.モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

### Aコース（為替ヘッジあり）

#### 当ファンドの組入資産の内容

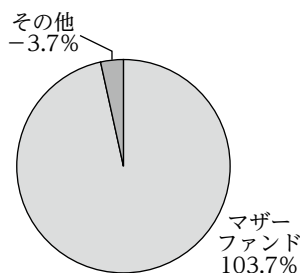
#### 組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

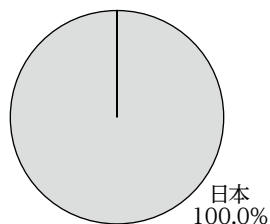
ファンド名	第4期末 2019年3月25日
イーストスプリング米国小型株式マザーファンド	103.7%

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

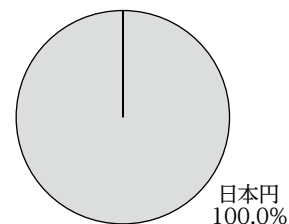
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



（注1）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目		第4期末 2019年3月25日
純資産総額	(円)	27,095,608
受益権総口数	(口)	28,578,304
1万口当たり基準価額	(円)	9,481

\*当期中において追加設定元本額は7,750,870円、一部解約元本額は13,339,685円です。

## ファンドデータ

### Bコース（為替ヘッジなし）

#### 当ファンドの組入資産の内容

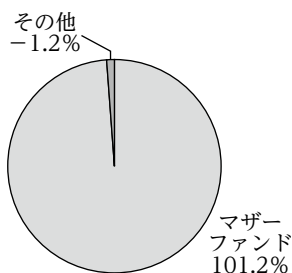
#### 組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

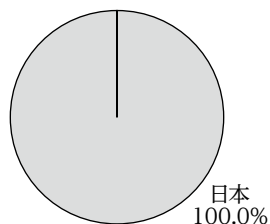
ファンド名	第4期末 2019年3月25日
イーストスプリング米国小型株マザーファンド	101.2%

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

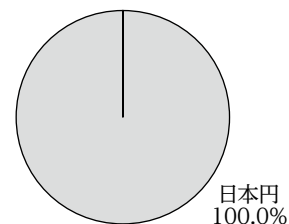
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



（注1）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目		第4期末 2019年3月25日
純資産総額	（円）	1,029,827,400
受益権総口数	（口）	1,029,448,182
1万口当たり基準価額	（円）	10,004

\*当期中において追加設定元本額は40,519,224円、一部解約元本額は243,565,695円です。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング米国小型株式マザーファンド>

基準価額の推移(2018年9月26日～2019年3月25日)

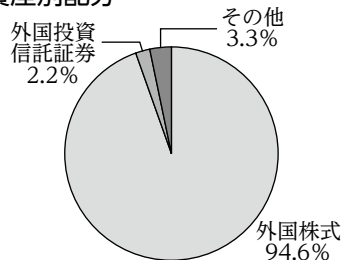


組入上位10銘柄(組入銘柄数：50銘柄)

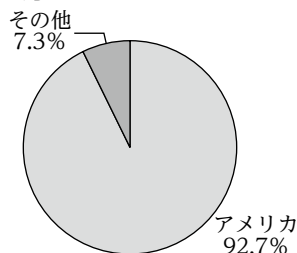
(2019年3月25日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Penske Automotive Group Inc	小売	アメリカ	2.6%
CACI International Inc -CL A	ソフトウェア・サービス	アメリカ	2.6%
Helen of Troy Ltd	耐久消費財・アパレル	バミューダ	2.6%
Skywest Inc	運輸	アメリカ	2.5%
Magellan Health Inc	ヘルスケア機器・サービス	アメリカ	2.5%
PBF Energy Inc-Class A	エネルギー	アメリカ	2.5%
Meredith Corp	メディア・娯楽	アメリカ	2.5%
Cott Corporation	食品・飲料・タバコ	カナダ	2.5%
Kennametal Inc	資本財	アメリカ	2.4%
Belden Inc	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ	2.4%

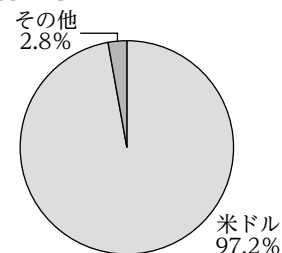
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月26日～2019年3月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	5円	0.042%	(a) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、10,990円です。
(株式)	( 4)	(0.040)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	( 0)	(0.001)	
(b) その他費用	7	0.066	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 7)	(0.066)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	( 0)	(0.000)	
合計	12	0.108	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。